

びっくり

お寺新聞

発行日 4月22日
土曜日
ひびり
神社新聞
発行人 山口しづ子

東福寺の二門上がる

ふだんは、とがれなり三門に上がった。上がった。すぐくふだんは、威びられなり新鮮な空気を味わえられた。そして、豊臣秀吉が三門に来て、この屋根をさるをさせた。ぼくは、それを見て、お寺の人は、すごいな。と思った。そこで、むかひ

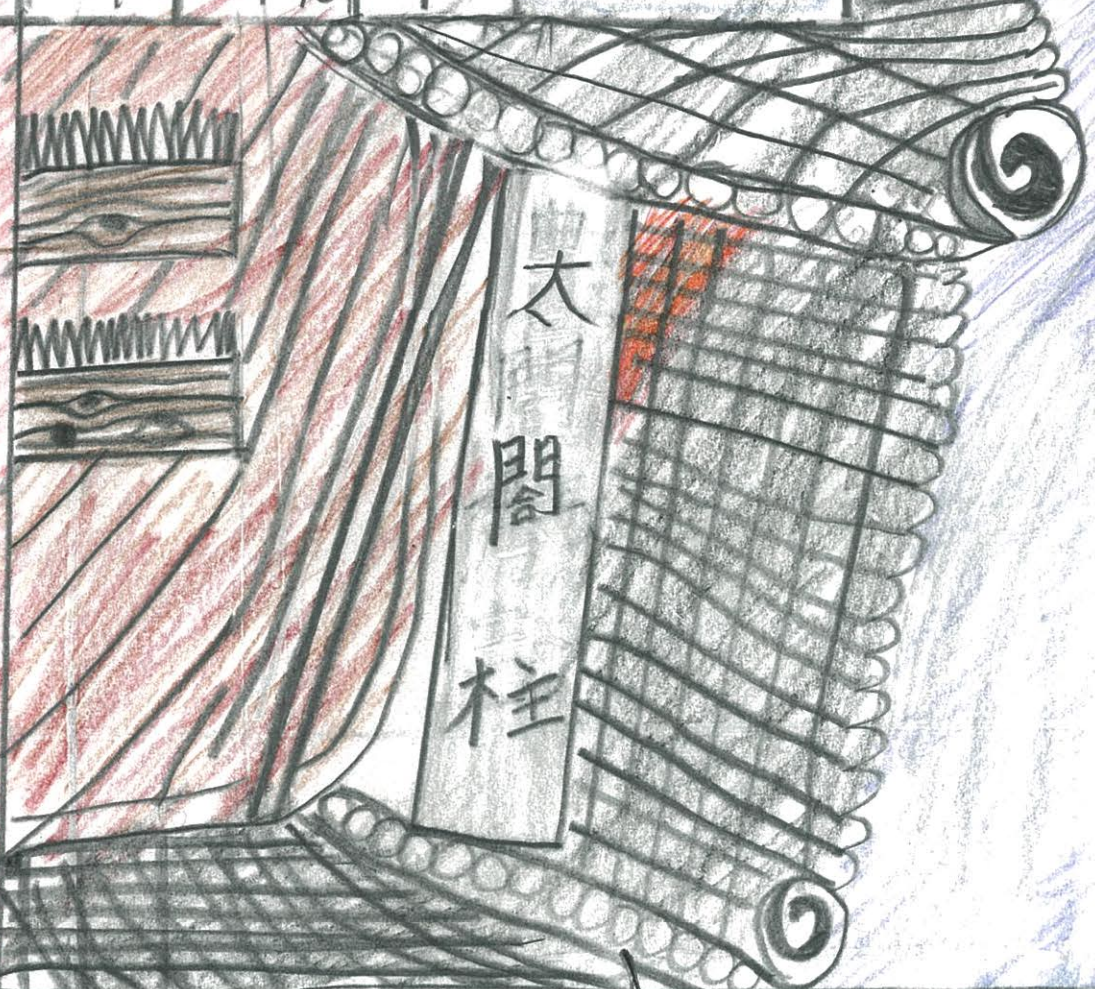
にある「本堂」と言う大きなお寺のことは、おぼろげから聞いた。そのお寺は、

明治に大々火事になった。そして昭和9年に三分の二をさいけんした。今は、すべりっぱなのお寺だ。

威び相へ ぼくは、一人の一声でりっぱ

な太閤柱が建てられたり、大きな本堂の一部を直せたり、昨日のくうは、今のくう

うより、おんたの力の重なりがあつた。魚べい



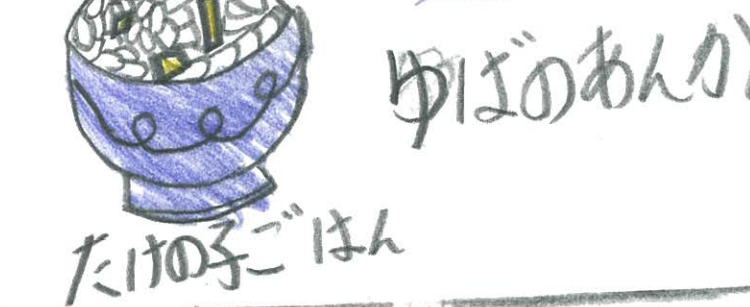
青進料理を食べる

お肉や魚、生き物を食べない食事をしてました。

たけのこごはん、むし料理、ゆばのあんかけつけ物、白みそのお

みそしる、みかんなどなど、様々なおいしい料理があり野菜

だけでも、ええなにおいしいや。と思つた。



べんをする。

大々な座布団のひいた台があつた。ぼくたちは、その座布団に座つた。おぼろげな長くて平らなほうをもつた。今から、ざんをします。おまうをとくええただけで、いたくないので、せ中をたてます。たたいともらえました。毎日元気がいれます。と、きかれ、さかんなので、二回やってみた。その時、かんかくが、じいんとはしたけど、おぼろげな言うとおりの、たくなかった。ぼくは、世日の人は、すごい。と思つた。たかと言つた。バシッ!!! と言つた音で、やる気が入つて、そと元気がなると思つた。

ぼう

